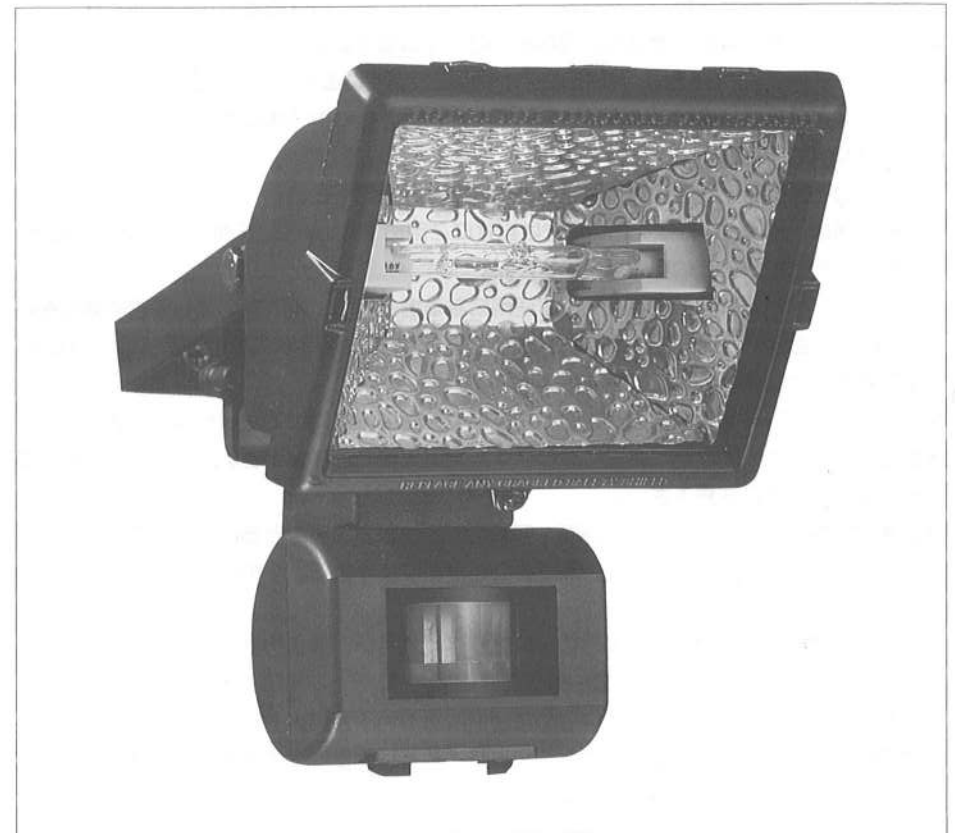


HALOGEN SENSOR LIGHT

ハロゲンセンサーライト

HL-150C 取扱説明書



このたびはハロゲンセンサーライトをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

■ハロゲンセンサーライトご使用上の注意

- 電源の電圧が100Vであることを確認して下さい。
 - ライトはセンサー部に接近させないで下さい。又、エアコン、換気扇等の温度の高いものの周囲には取付けないで下さい。
 - センサーの感知エリア内に反射しやすいもの（ガラス、水面、光沢の強いもの等）はできるだけ避けて下さい。
 - 電源コードが短くて、延長コードを使用するときは10m位までは0.75mm²、20m位までは1.25mm²のものをご使用下さい。電気容量が少ないと誤作用することがあります。
 - ハロゲンライトをご使用下さい。容量は最大で150W×1コです。容量の大きいものを使用しますと故障の原因となり危険です。
 - ライトの交換は電源を切ってからおこなって下さい。点灯中は高温のため危険です。
 - 本機は完全防水ではありません。雨水などのかかる場所には取付けないで下さい。
- ☞センサーボックスはSENS、TIMEのダイヤルについている面を下にして取付けて下さい。
- 人、車などの触れる場所には取付けないでください。特にお子様の手のとどくところには取付けないで下さい。
 - ライトのそばに可燃性の引火しやすいものは置かないで下さい。
 - 故障の際は、分解せずに販売店、または当社にご用命下さい。又、分解しての配線の変更、他用途の使用についての責任は負いません。
 - センサーライトを防犯の照明としてご使用になる場合でも、侵入者に対し警告や威嚇をするもので、盗難を防ぐものではありません。万一発生した盗難事故による損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ハロゲンライトをセットするときは、中央部の凸側を後に向けてセットして下さい。
 - 使用中（点灯中）は非常に高温になります。火災火傷にご注意下さい。特に手や体を直接触れないようにご注意ください。
 - 設置のときは、周囲のものから後面・側面とも3cm以上間隔をとるようにして下さい。
 - 使用中ライトの前に物を置くと、焦げることがありますので、1m以上離してご使用下さい。
 - ハロゲンライトは水平になるようにしてご使用ください。傾きの許容は約5°まで。
 - ハロゲンライトは、150W以下のものをご使用下さい。
 - 防滴タイプですが、水中・雨の中でのご使用はおやめ下さい。
 - ハロゲンライトのガラス管を汚れたまま点灯すると、光量低下の原因となります。汚れている場合には、アルコール類を含ませた布などでふきとって下さい。

■特長

- ハロゲンセンサーライトは赤外線検知により、人間（動物）が、センサーの検知エリア内に入ると自動的に点灯して、設定した時間（約20秒～10分）が過ぎますと自動的に消灯します。又、連続点灯もできます。
- ハロゲンセンサーの検知エリアは直前で約10m、左右で約8m。角度は110度の広角タイプです。
- 人の出入りする場所（ご家庭の玄関、門等）に設置しますと夜間人が近づけば自動点灯しますので、安全で防犯にもなります。そして、人が離れると設定した時間経過後、自動消灯しますので節電になります。
- 車庫に設置し、夜間車が車庫に近づくと自動点灯し、設定した時間が経過しますと自動消灯します。
- ハロゲンライトをセットしてありますので照明効果は抜群です。

■用途

- 一般家庭の防犯、節電照明（住宅の門扉、入口、玄関、庭、ガレージなど）
- 車両の防犯（ガレージ、車の展示場、中古車センター、駐車場など）
- 無人店舗、無人倉庫、無人工場、無人作業場、資材置場、温室、学校、養殖場などの防犯や警告灯として。
- 夜間の商品の入荷、出荷の安全、保安灯に。

■部品の名称

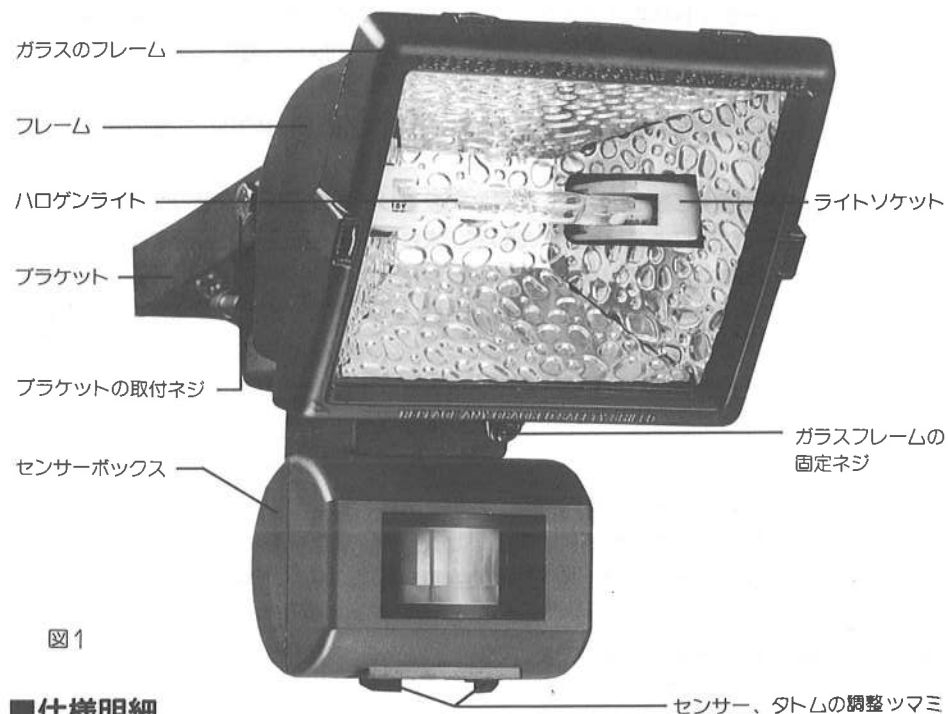


図1

■仕様明細

型番	HL-150C
電圧	100V
検知エリア	(約)距離は1m~10m、角度は110°
点灯時間	約20秒~10分、連続
消費電力	使用時の最大 150W (ハロゲンライト)
重量	0.9kg
設置場所	直接雨、水のかからないところ

■付属品

- ブラケットとフレームの固定用
ネジ 2本/ナット 2ヶ/スプリングワッシャ 2ヶ/止めワッシャ 2ヶ
- ブラケット取付用
タッピングネジ 2本/平ワッシャ 2ヶ/プラグ 2ヶ

■点灯時間の調整(TIME)とセンサーの感知度調整(SENS)について

- センサーボックスの下面に下記のダイヤルがついています。

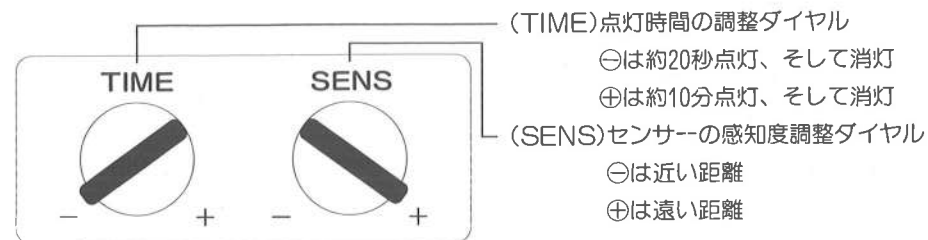


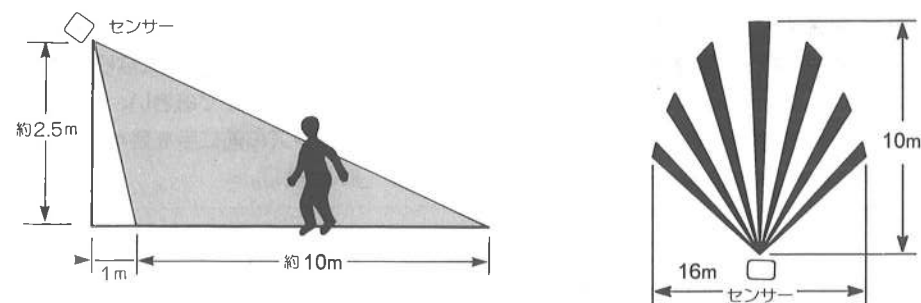
図2

- 点灯時間の調整はTIMEのダイヤルを⊕左に回すと長くなり(約10分)、⊖右に回すと短くなります(約20秒)。
 - センサーの感知度の調整は⊕左に回すと強くなり、⊖右に回すと弱くなります。取付周囲の条件に合わせて調整して下さい。
- 注取付後、正常に作動しているときは調整は不要です。

■センサーライトの検知エリア

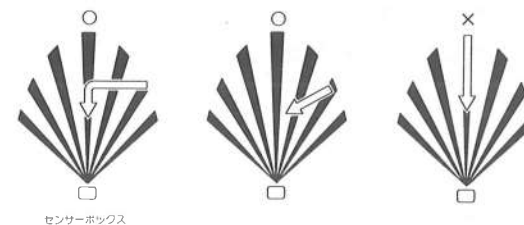
□検知エリアは直線で約1mから10mまで。

□検知エリアの左右は約110°です。



■センサーの効率の良いご使用方法

- センサーを取り付けるときは、センサーの光線を横切るように取り付けるのが効率的です。下図を参考にして下さい。



■明るい場所（昼）のテスト方法（取付前）

	操 作	反 応
①	SENS(センサーの感知度調整)、 TIME(点灯時間の設定)のダイヤルの位置はどこでもOKです。	
②	電源プラグの操作。	電源プラグをコンセントに差し込み約5秒後に抜いて直ぐに又、コンセントに差し込んで下さい。 ④遅いときは点灯しない場合がありますので、再度行うときは電源プラグをコンセントから抜いて30秒後位後、同様に行ってください。
③	センサーの反応と点灯。	初回は約30秒以内で点灯そして消灯。 その後はセンサーの前に人(手)がいますと約5秒点灯、そして消灯。 ④このテストは1~2度繰り返して点灯すればOKです。
④	電源プラグをコンセントに差し込んで約5分経過後。	テストモードからオートモードに変わり、明るい場所では点灯しなくなります。 ④センサー部を黒い布等でおおい、暗くして布の中のレンズの前に手を置くと点灯します(夜と同じ)。

④下記のときは連続点灯する場合がありますので、ご確認ください。

- 電源のコンセントの電圧が90V以下のとき。
- 0.75mm²の延長コードを10m以上使用のとき。
- 同じコンセントから、何台かの電気製品を同時に使用している場合。
- 電圧の測定は本機のプラグを差し込むコンセントのところでおこなってください。
- センサーの前で人(手)が連続して動いていると連続点灯します。

■暗い場所（通常）でのご使用方法

	操 作	反 応
①	TIME(点灯時間の設定)のダイヤルの位置。	ダイヤルの⊖印は点灯時間が約20秒、⊕印は点灯時間が約10分です。この範囲内でご希望の時間に合せて設定して下さい。
②	SENS(センサーの感知度調整)のダイヤルの位置。	ダイヤルの⊖印は感知度が弱く、⊕印は感知度が強くなります。 ④距離が遠いときは、⊕方向、近いときは⊖方向、周囲の温度が低いときは⊕方向、高いときは⊖方向に回して下さい。取付時は⊖⊕の中間にしてその後調整して下さい。正常に点灯、消灯しているときは調整は不要。
③	電源プラグの操作。	電源プラグは1度入れるだけでOK。 ④電源プラグを入れかえる時は、センサーに前のモードが残っていることがありますので、電源プラグを抜いて約30秒位後に改めて電源プラグを入れて下さい。
④	センサーの反応と点灯。 暗い場所 明るい場所	①初回はセンサーのウォームアップのため、約20~30秒点灯して消灯します。 ②2回目からセンサーの前に人(手)が横切ると設定した時間だけ点灯、そして消灯。 ③その後は電源プラグをコンセントから抜かなければ夜(暗い時)人がセンサーの前を横切ると設定した時間だけ点灯、そして消灯。 明るい場所(昼)は点灯しません。 ④人がセンサーの前で連続して動いていると連続して点灯します。

■連続点灯のご使用方法（夜、昼同じ）

図5

	操 作	反 応
①	SENS、TIMEのダイヤルの位置はどこでもOKです。	
②	電源プラグの操作。	電源プラグをコンセントに差し込み、約5秒後に電源プラグを抜いて直ぐにON-OFF-ONを繰り返して下さい。（2～3秒以内） 注遅いときは連続点灯しません。
③	センサーの反応と点灯。	夜、昼共に連続点灯して消灯しません。
④	センサーを通常のモードに変更する場合	電源プラグをコンセントから抜いて30秒後に改めて行って下さい。

■センサーライトの設置について

- 検知エリア内に反射しやすいもの（ガラス、水面、光沢の強いもの等）はできるだけ避けて下さい。
- 特別温度の高くなるものそばは避けて下さい（電灯、エアコン、換気扇等のそば）
- ガレージ等で使用する時は、フロントガラス、窓ガラスの反射がありますので避けて下さい。設置位置や角度にご注意下さい。設置については、テストをして最も良い位置にするようにして下さい。
- センサーの検知の不要なエリア（犬、猫などの動物の動く場所）については、センサーの一部分の不要部分に黒いビニールテープを貼って下さい。（図4参照）
- 本機を設置する時は水平になるようにして下さい。

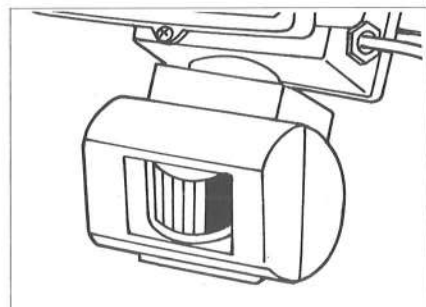


図4

■ハロゲンライトのセット方法

- ハロゲンライトはフレームの中に入っています。
- ガラスフレームの固定ネジを取ってライトを取り出し、包装用のカバーを取り除いてください。
- 次にライトの片方をランプソケットに押すようにして差し込み、もう片方を差し込んで下さい。
- ライトの中央についている凸部は後側になるようにセットして下さい。

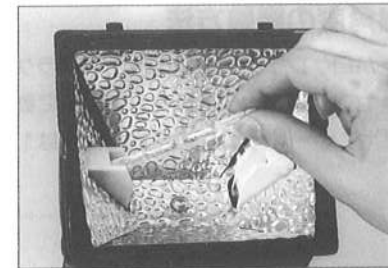


図4

■本体にブラケットの取付方法

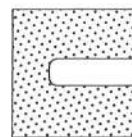
- フレームの左右に取付穴がついています。
- フレームの取付部の穴にブラケットの穴を合わせネジとナットの間にはワッシャ（ワッシャは2種）を入れて固定して下さい。



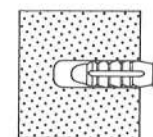
図5

■取付方法

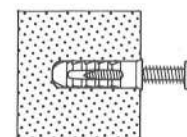
- 取り付け場所が決まりましたら、本機をその場所に置いて、センサーの感知をご確認下さい。
- 注明るい場所での確認は電源プラグをコンセントに差し込み、5秒位のち抜いて直ぐにコンセントに差し込んで下さい。その他、反応については5頁をご参照下さい。
- 暗い場所での確認は電源プラグを1回差し込む（ON）だけでOK。その他の反応については6頁をご参照下さい。
- センサーの前で連続して人が動くと連続点灯します。作業中も同じ。
- 本機のブラケットに取付穴が2ヶあります。その穴にネジを差し込んで、しっかり止めて下さい。
- 取付のタッピングネジ、プラグについて（同封のもの）
- ①木材（約10m/m以上）にはタッピングネジで取り付けして下さい。
- ②コンクリート、ブロック、レンガ等の厚いものは同封のプラグを打ち込み、同封のタッピングネジで止めて下さい。
- 注鉄板、木材、タイル等のうすいものについてはビスとナット止め、鉄製プラグの使用、又は補強をして安全に取付をして下さい。
- プラグとタッピングネジは下図のようにして止めて下さい。（図6参照）



①最初に6×25mmの穴をあけて下さい。



②金鎚等で軽くたたいてプラグを打ち込んで下さい。



③タッピングネジを入れて固定して下さい。

図6

■角度の調整方法

- ハロゲンライトのフレームはブラケットのネジをゆるめて角度を調整して下さい。
 - センサーボックスは左右と上下に動きますので調整をして下さい。
- ④センサーボックスの左右の回転は110°以内でご使用下さい。

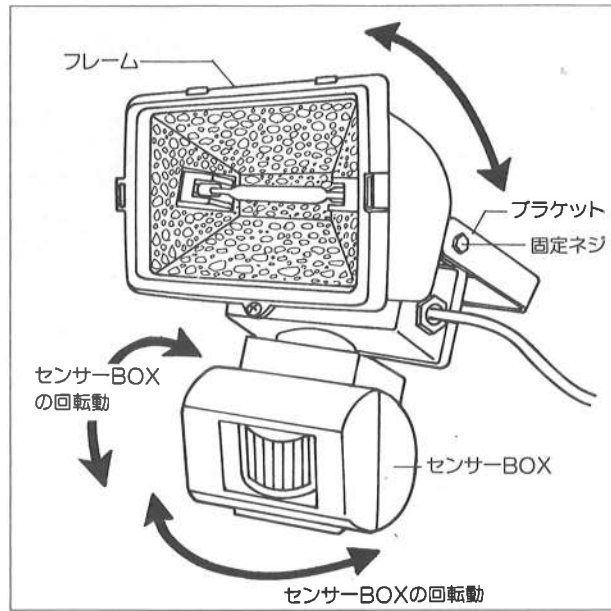


図7